

## 6月の「どんぐりsカフェ」から 初の「古本&ガレージセール」大盛況

6月16日の「どんぐりsカフェ」は、普段の講演などとがらりと雰囲気を変え、会員らから蔵書や不用品を提供してもらった「古本&ガレージセール」を開催した=写真。

初の試みの上に準備期間が1カ月余と短かったため、役員が総出であたふた出展品整理や展示会場の準備に追われた。PR不足も心配されたが、会場となったサンマルシェ南館1階の「ほっとステーション」には、午後1時半の開業の前から、買い物ついでのお客さんが準備中



の会場内に入り始めた。夫婦や親子連れが熱心に本を探すなど、閉店の午後4時まで客足も途切れることもなく盛況だった。

会場には友好団体などの協力をいただいて、古本のほか、衣服、生活雑貨、手作りアクセサリ、おもちゃなどが所狭しと積み上げられた。文庫・新書本が一律50円、単行本100円という破格値段が受けたのか、1人で10冊以上も買い上げる人がいるなど、どんどん商品の山が低くなっていった。不用品活用のお手伝いを通して、地域とのつながりを深めるという今回の目的を果たすことができた。今後は定例的に開催する方針で、次回は11月に開催する予定。会員の皆様のご来店や商品集め、店の運営などに参加、ご協力をお願いします。(明賀 雄二)

### 役員会から(6月16日)

●規約に基づき理事の互選で、藤城理事長(事務局長兼務)、寺島・明賀副理事長、杉山・長谷川会計の全役員の留任が決まった(片山・森監事は総会で承認済み)。「役員主導型から会員参加型へ」をスローガンに藤城執行部が新たに船出した。●役員会で常に問題となる「どんぐりsカフェ」のテーマ選び。毎月のテーマのジャンルをあらかじめ決めてはどうか、との提案があった。2・8月「歌声サロン」、1・9月「NTまちづくりの話題」、3・10月「この人を囲んで」など硬軟を組み合わせる。テーマも絞りやすいと、この方向で進めることになった。どうすれば参加者を増やすことができるか、内容や広報の方法も検討を続ける。●夏祭りの季節が近づいた。今年も高森台小学校区盆踊り(7月28・29日)と押沢台夏祭り(8月4日)に「どんぐりs」が出店する。地域との交流と活動資金確保という重要な目的を担い、役員が総出で、「光るおもちゃ」の買い出しなど準備と運営に当たる。(明賀 雄二)

### 7月の高齢者・すまい無料相談

●電話か又は直接面談会場にお越しく下さい  
☎080-4540-3553(どんぐりs事務局)  
面接相談会日時:7月8日(日)、29日(日)  
(ともに13:30~16:00)  
会場:「ほっとステーション」  
(サンマルシェ南館1階)

●7月の「どんぐりsカフェ」は休みます。

## 会員アンケートに寄せられた声

### 「目に見える成果」期待

「どんぐりs」定期総会(5月27日)に向けて実施した「会員アンケート」に12名の声が寄せられた。これまでの「どんぐりs」の活動については、「満足」と「不満」の声が相半ばしたが、今後に向けて①「再生」に向けて目に見える成果②他団体との連携強化、③空き家を活用した「大人のたまり場」の拡大、を期待する声があった。毎月恒例の「どんぐりsカフェ」については、「まちづくりセミナーは良かった」、「菱野団地の住民バスの話は興味深かった」という評価や、「隠れた才人の発掘」、「女性が関心をもてる企画」の提案があったが、全体としては「内容に興味が無い」、「楽しそうな内

容でない」との声も寄せられた。また、「どんぐりs」の活動への協力については、積極的な申し出が無かったのは残念であった。

アンケート結果をもとに、今期の活動目標である“会員参加型”への転換を図っていく所存です。貴重なご意見を寄せていただいた方々に、この場を借りて御礼申し上げます。更なるご指導・ご鞭撻をお願いします。

(理事長 藤城 栄一)



ホタル乱舞 (長野県辰野町) 森 健

### 高森台・押沢台の夏祭りに出店

「どんぐりs」は、今年も7月28日(土)、29(日)の高森台小学校校庭での「高森台小学校地区盆踊り大会」、8月4日(土)の押沢台小学校校庭での「押沢台夏祭り」に出店参加することを決めました。昨年同様に「光るおもちゃ」を販売。押沢台では「タマセン」も調理。去年は天気にも恵まれ、出足も好調で、光るおもちゃもタマセンも完売。大汗をかいた努力が報われました。今から子供たちに喜んでもらえる光るおもちゃを何にしようか模索中です。販売のお手伝い(特に女性)を募集しています。

連絡先☎(080-4540-3553)

### 7月の「大人のたまり場」

日 時：7月11日(水)、25日(水)

(ともに13:00~16:00)

会 場：「大人のたまり場」

(高森台6丁目東高森台集会所そば)

参加費： 200円

連絡先； ☎080-4540-3553

### 私の朝・昼・晩

#### 星とホタルを追って

写真の世界はすっかりフィルムからデジタルにかわった。とりわけ、デジタルカメラの機能、性能は日進月歩で進化をつづけ、驚くべきものになった。なかでも、暗い被写体を撮影する能力は飛躍的に向上した。

フィルム時代には撮影困難だったオーロラも今では普通に撮影できる。20年ごとに新月の暗闇の中で行われる神秘的な伊勢神宮の遷宮行事も最新のデジカメの前では闇のベールをはがされる。

光が弱く長時間露光で撮影する星は線しか撮影できなかった(地球自転のため星は動く)が、今では見た目のように点として撮影できるようになった。更に人間の目では見えない明るさの星まで写るようになった。

初夏の里に乱舞するホタル=今号写真。その情景を撮影しようと先人達が悪戦苦闘した被写体だが、全国各地の幻想的なホタルの写真が発表されている。

ここ数年、これら新しく開拓された分野の写真撮影に挑戦している。(森 健)